

みやけの風

第 240 号

平成17年(2005年)9月17日(土)発行
 発行：三宅島災害・東京ボランティア支援センター
 発行責任者：上原 泰男
 東京都新宿区神楽河岸1-1 セントラルプラザ 10階
 東京ボランティア・市民活動センター 気付
 TEL：03-3260-7573 FAX：03-5229-1646
 E-mail：tokyocenter@cmpo.org

今日、横断歩道を渡っていたら、赤とんぼが飛んでいくのに会いました。日中も日差しは相変わらず強くても、風の中に秋の涼しさを感じるようになりました。そんな中、三宅島では金曜日の夜『みやけじま<風の家>』の開設に向けて、お話し合いがありました。この場所が島の方にとって、ゆっくり楽しんでいただけるような場所になるように、みんなが安心して暮らせるような地域の中の居場所になればいいなと願っています。

みんなの声

帰島雑感

4年7ヶ月もの避難生活を終え、帰島を果たしたのは4月の事でした。中学一年生だった息子は高校三年生となり、その年月の長さを感じている所です。

さて、帰島はしたものの、電気が我が家に入るのに3週間かかり、ボイラーや流し台が入ったのは5週間目でした。忙しい中、大工さんにも、天井、床など住めるようにしていただき、生活はどうか落ち着いて、工事をしていただいた方々には感謝の気持ちでいっぱいです。しかし、避難生活でたくさんお世話になった多くの方々へのお礼のハガキも出す気力がわかず、今だにどうしたもんだかなと自分にと問うております。

久しぶりに再会した島の皆さんは、なるほど自分も含め年を重ねており、小さかった子供たちの見違えるほどの成長には、目を見張りました。

皆さんどなたも、「島に帰ってどうですか」と訊ねると、口を揃えて「いいよー、島はいいよー」と言います。「都会の生活はつらかったよー」とも言いました。

帰島してもうじき半年、錆の棧橋に朝、夕、釣り糸をたれている人々の姿を見るにつけ、島での生活は、ゆったりとした時の流れ、波の音、星の輝きと自然に囲まれ、これこそ人間らしい生活なんだと納得しております。

この生活をおくれるようになったのも、東京都のご尽力、三宅村職員の皆さまのお力添えがあったからこそと、深く感謝しております。

また、支援センターの皆さま、全国の三宅島を応援して下さった皆様、ありがとうご

ざいました。

(阿古 平井美也子)

三宅島の皆さん！ お元気ですか。

ふるさととの会の成清と申します。

今年の3月、荒波を乗り越えて島にたどり着き、わずか1週間でしたが、赤い帽子をかぶってボランティアをさせていただきました。

荒々しい潮風、空の青、ひかりのシャワー、鳥のような蛙の鳴き声、三宅島は僕にとって“ひょっこりひょうたん島”でした。

懐かしくて、切なくて……。そんな三宅島は僕に、“空の下・身一点”を感じさせてくれ、わずか一週間という時間が一年にも思えてきたものでした。

山登りやフォークダンスできたえられ、まっすぐのびたその背筋、風になびく美しい銀髪、気品という言葉を思い出させてくれたその居住まい。ほんとうに素敵な“おばあちゃん”（ごめんなさい）にお会いできたことも、楽しい思い出になりました。

9月の連休に、島への“里帰り”をもくろんでおりましたが、残念ながら10月1日開設予定の山谷(さんや)の“ドヤ”（自立援助ホーム）の準備で時間がとれなくなりました。自立援助ホームというのは、もともと山谷で働き、年をとり、働けなくなった仲間が病院を転々としています（社会的入院）が、かれらにもう一度“ふるさと”山谷に戻って来てもらうための“棲み家”です。

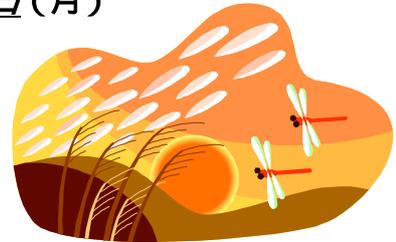
島の皆さん！ 当分、僕は東京・山谷の空の下で、“ふるさと”づくりに専念することになりそうですが、一息ついたら、かならず島への“里帰り”を実現したいと考えております。その節にはよろしくお願い申し上げます。

(NPOふるさと会 成清正信)

三宅島民合唱団「アカコッコ」からのお知らせ

秋風が気持ちよく頬を撫でる季節となりました。
 三宅島民合唱団「アカコッコ」では、今年11月三宅島音楽祭の出場を目指し、下記のとおり練習を始めることになりました。
秋の夜を、お疲れの肩を解すつもりで、お気軽にお誘い合わせの上ご参加くださいますよう、皆さまのおいでをお待ちいたしております。

練習日：9月19日(月・敬老の日)・9月26日(月)
 練習時間：19:30~21:00
 練習場所：三宅高校3F 音楽室
 指導：時田先生(三宅高校教諭)
 ピアノ：馬場先生(中学校教諭)
 お問い合わせ先：浅井 04994-6-0513
 北川 04994-5-0803



三宅島災害・東京ボランティア支援センター三宅島事務所より

「みやけしま<風の家>」開設日決定！

9月15日(木)に、「みやけしま<風の家>」開設に向けた会合を行いました。
 当日は、<風の家>を応援または支えてくれる島の方々にもお集まりいただき、様々なご意見をいただくことが出来ました。
 皆さんからは、帰島した今、地域の中で気付いたことなどが話されました。その中では、やはりご高齢の方々の暮らしをご心配される意見が多く、特になかなか外出の機会が無いために、会話をしたりお知り合いと会うことが少なくなっていることが話されました。そこで、そんな方々に、<風の家>に来ていただいて、ゆっくりと楽しく過ごしてもらえる場所にしていきましょうということが話されました。

その中で、「みやけしま<風の家>」の開設日についても意見をいただき、
来る10月5日(水)開設ということになりました。あわせて、開設の際には
たくさんの皆さんに「<風の家>」へお出でいただき、みんなで楽しく過ごす
 プログラムを催して、開設を迎えようということになりました。
 今後は、開設に向けた具体的な準備を、たくさんの島民のみなさんと一緒に進めます。



「みやけの風」へのご意見・ご要望を、三宅島支援東京センターまでお聞かせください。